

2021年3月11日
(2021年3月15日訂正)

茨城幹線の供用開始と日立LNG基地「2号LNGタンク」の営業運転開始について

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社（社長：内田 高史、以下「東京ガス」）は、茨城県内で進めていた高圧ガスパイプライン「茨城幹線」（延長 92.6km、茨城県日立市～茨城県神栖市）工事を完了し、3月1日よりガスの供用を開始しました。また、「日立 LNG 基地」（茨城県日立市）における「2号 LNG タンク」工事も完了し、3月10日より営業運転を開始しました。

東京ガスは、東京圏に加えて北関東圏での高圧ガスパイプラインのループ化、LNG タンク容量の増強により、4つの LNG 基地*の相互バックアップによる供給安定性の向上、ガス輸送能力の増強を実現しました。

東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」に掲げた天然ガスインフラのさらなる強靱化に向け、自治体・他インフラ事業者との連携を強化し、今後もエネルギーの安全かつ安定的な供給に努めてまいります。

*：根岸 LNG 基地（神奈川県横浜市）、袖ヶ浦 LNG 基地（千葉県袖ヶ浦市）、扇島 LNG 基地（神奈川県横浜市）、日立 LNG 基地（茨城県日立市）

<東京ガスの高圧ガスパイプライン>



<日立 LNG 基地空撮写真>



※「東京ガスの高圧ガスパイプライン」の図が訂正箇所です。

<茨城幹線概要>

始点／終点	茨城県日立市／茨城県神栖市
圧力／口径	7MPa／600 mm
全 長	92.6 km
着 工	2017 年 4 月
供用開始	2021 年 3 月

<2号 LNG タンク概要>

仕 様	地上 PC 式 LNG タンク
貯 蔵 容 量	23 万 kl
貯 槽 外 径	90.2m
高 さ	59.8m
着 工	2018 年 4 月
営業運転開始	2021 年 3 月

<日立 LNG 基地全体概要>

敷 地 面 積	約 13.5 万 m ²
受 入 設 備	LNG・LPG 受入バース、内航船出荷バース
L N G タ ン ク	23 万 kl (地上式) 2 基
L P G タ ン ク	5 万 kl (地上式) 1 基
L N G 気 化 設 備	オープンラック式 100t/h : 3 基、150t/h : 2 基
LNG ローリー出荷設備	10 レーン

以上